

当院における二分脊椎症例の後方視的検討

-脊髄髄膜瘤の胎児治療を見据えて-

1. 研究の対象

2018年1月から2023年5月に当院で脊髄髄膜瘤または脊髄脂肪腫と診断された方

2. 研究目的・方法

二分脊椎のうち、出生前診断が望まれる疾患として脊髄髄膜瘤と脊髄脂肪腫が挙げられます。特に脊髄髄膜瘤では、妊娠中に子宮内で脊髄が傷つき、妊娠後期には非可逆的な神経障害を生じてしまう可能性があります。近年、脊髄神経機能の温存を目的とした脊髄髄膜瘤の胎児手術の臨床研究が本邦で開始され、今後の普及が期待されているところです。脊髄髄膜瘤の胎児手術の適応は、妊娠19週0日から妊娠25週6日までであり、手術施設への紹介をするためには妊娠20週ころまでに診断されていることが望ましいと言えます。ただし、脊髄髄膜瘤の診断のための系統だった超音波検査方法は未だ確立しているとは言い難く、その出生前診断状況は地域や施設によりさまざまと考えられます。今回我々は、当院産科および小児科で管理した症例を検討し、胎児超音波検査による出生前診断の有無、診断時期、診断の契機となった超音波所見やその患者の転帰を調査したいと考えています。今後の二分脊椎症例における出生前診断率の向上のための方法の考察を本研究の目的とします。

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2024年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

秋田大学医学部附属病院の診療録（カルテ）を用いて情報を収集し、解析を行います。

収集を行う具体的な項目は、出生前診断の有無、診断時期、診断の契機となった胎児超音波所見、転帰等です。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、生年月日、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は削除して利用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の

方にご了承いただけない場合には研究対象としますので，下記の連絡先までお申し出ください．その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません．

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 医員 福岡日向

問い合わせ対応担当者：秋田大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 助教 小野寺洋平

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話：018-884-6163 FAX：018-884-6447

-----以上